

第一回
自動車整備分野における外国人材受入れ・育成に向けた国内勉強会 資料



2022年 3月 3日

株式会社チェングロウス
関口 秀樹

01

チェングロウスのご紹介 —会社概要

OUR VISION

人と組織の成長連鎖を生み出す企業

【社名】株式会社チェングロウス

【本社所在地】東京都江東区豊洲五丁目6番52号

【事業内容】● 人材紹介・派遣事業
● 人材教育事業
● 人事・労務コンサルティング事業

【設立】1970年（2017年株式取得）

【株主】株式会社オートボックスセブン 100%



自動車への想い

家族・友人・恋人。大切な人との思い出の中にクルマがある方も多いのではないでしょうか？クルマは楽しいもの。安心してクルマを目一杯楽しむ。そのために必要な安心・安全を人材の側面から支える。そのような役割を担っていきたくと思っています。

人とクルマが輝く未来への想い

クルマが好き、好きだから仕事にしたい。そんな方々が日本のクルマ社会を支え続けてくれています。クルマ業界を支えてくれている人材と、優良な企業を繋げていきたい。また、仕事を通じて成長できる環境を届けたい。クルマ業界で働く人々がイキイキと働ける社会を目指しています。

人材への想い

子供の頃に映画で見た自動運転のクルマは現実のものとなってきました。空飛ぶクルマが飛び回る社会もそう遠い未来では無いのかもしれません。また、クルマの使い方もどんどんと変化するでしょう。しかし、それらの世界を支えるのはメカニックです。まだ見ぬ未来への発展をみなさんと一緒に目指します。

01

チェングロウスのご紹介 —親会社のご紹介



社名

株式会社オートバックスセブン



事業内容

- カー用品販売、車検・整備を行う【オートバックス】店舗を展開するフランチャイズ本部
- 国内に589店舗出店し、海外はASEAN地域を中心に展開
- オートバックス事業以外では、「ディーラー事業」「BtoB事業」「オンラインアライアンス事業」を展開

近年の取り組み

- 日産自動車株式会社様と、カー用品に関する領域で業務提携。
- 次世代技術に対応する整備ネットワーク構築に向け、BSサミット様と業務提携。
- SUPER GTのスポンサーに加え、新たにeモータースポーツの大会スポンサーとしてクルマ社会の創造や活性化を実現。
- 小型EV商用車の販売・開発会社へ出資し、EV市場へ参入。

02

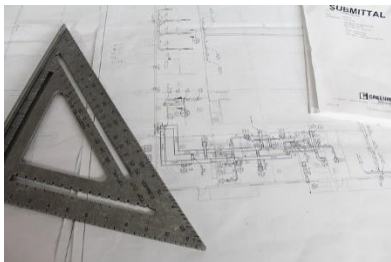
チェングロウスの取り組み —会社設立の経緯



2016年 プロジェクト立ち上げ

- 背景
- ・車検受託の増加に向け、十分な整備士の確保が必要。
 - ・新規採用の難しさ、整備従事者の離職率の高さが課題。

- 対応
- ・整備士の直接雇用から内部養成・人材紹介のしくみ作りを行うため、オートバックスセブン内でプロジェクトチームを発足。



2016年 方針決定

- 方針
- ・若者にとって、高度な整備士資格を効率的に取得できる魅力のある仕組みを構築する。
 - ・人材獲得・加盟店舗に派遣・紹介するため、労働者派遣事業許可及び有料職業紹介事業許可派遣資格を取得する。



2017年 会社設立

- 結果
- ・企業買収により、株式会社チェングロウスを設立。
 - ・機能子会社として、オートバックスグループの人材不足問題に貢献。

02

チェングロウスの取り組み —整備士の輩出に向けて



チェングロウスでは、整備人材不足問題の解決に向けて、次の2つの取り組みにより、新たな整備士人材を輩出しています。



整備士短期講習の開始

既存就労者の中から、
効率的に整備資格を取得できるしくみの開発



整備士の輩出



高校企画の実施

新たに整備士を目指す者を募集し、
働きながら資格を取れるしくみの開発

02

チェングロウスの取り組み —整備士の輩出に向けて



1



整備士短期講習の開始

問題点の洗い出し
スキーム構築



福岡での実践



スキームの拡大



- 課題**
- ・就労者が整備資格を取得するためには、業務終了後に研修施設に通学する必要がある。
 - ・全国的に見ても合格率は60%程であり、不合格者の中には整備士になる事を断念する者もいる。
- 対応**
- ・新たな研修方法として、短期でのしくみづくりを行う。
 - ・講師陣を揃え、研修内容・方法を整備する。
- 実施**
- ・研修は自動車整備振興会が運営する事となっており、各局に相談。
 - ・福岡県自動車整備振興会が当社の取り組みに賛同くださり、2017年より研修を開催。
 - ・結果、毎年、ほぼ100%の合格率で3級整備士を輩出。
- 実施**
- ・2020年から、千葉県自動車整備振興会にて実績を評価頂き、同様の研修を開催。
 - ・福岡では新たに2級整備士の短期講習を開催。



2



高校企画の実施

問題点の洗い出し
スキーム構築



1期生の採用



スキームの拡大



- 課題**
- ・ 高校生の中には、整備士になる事を夢見るが、経済的理由により、整備専門学校への入学を断念する者がいる。
- 対応**
- ・ 当社で雇用し、オートバックス店舗で働きながら、当社が開催する集合研修および短期講習にて、確実に整備士資格を取得できるスキームを開発。
- 実施**
- ・ 各高等学校に訪問し、当社の想いに賛同いただけた高校より1期生として2名を採用。
 - ・ 1年半後の試験にて3級整備士資格に見事合格。
- 実施**
- ・ 現在、4期生が就労しており、3級整備士に100%合格。また、進路指導の先生方からも信頼を得る。
 - ・ 新たに、グループ外の企業からもオファーあり。また、高等学校とのコネクションを活かし、一般販売職の募集も実施。

02

チェーン成長の取り組み —教育・定着に向けて



チェーン成長では、整備人材雇用以外にも『人と企業の成長連鎖』に向けて、採用・教育・定着に向けた取り組みをおこなっています

研修制度

- 自社研修施設である『サービストレーニングアカデミー千葉長沼 (以下:STA長沼)』では、カーオーディオ取り付け研修をはじめ、千葉県自動車整備振興会の分教場として認可を取得し、分解整備からエーミングまでオーダーに応じ研修を開催。
- 管理責任者向けのマネジメント研修や労務管理研修、または法令改正に向けた研修。



コンサルティング制度

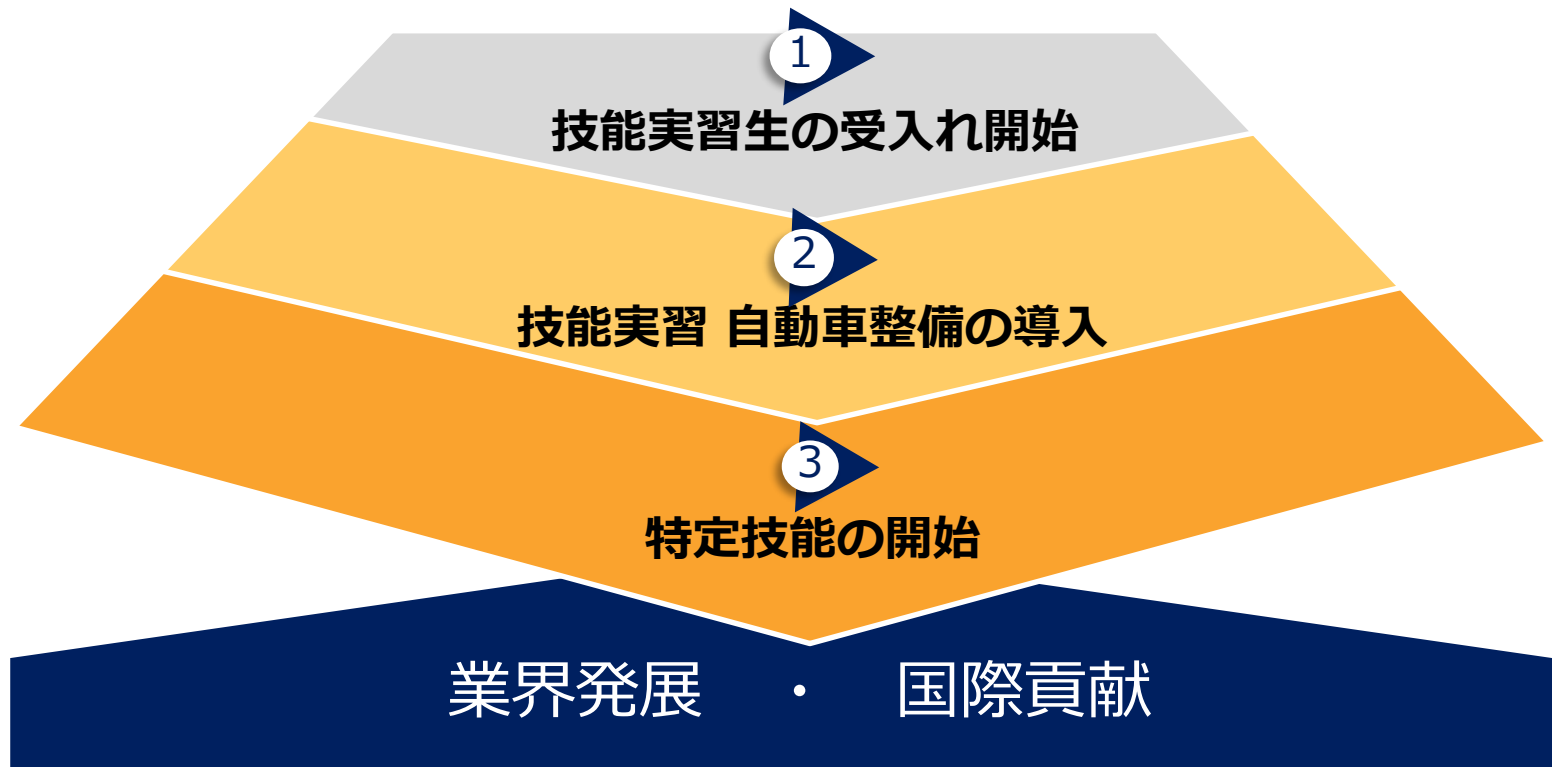
- 特に人材流失に歯止めをかける為、状況分析を行い、社内の問題解決に向けて、組織活力強化支援、人事開発支援、人事評価制度設計・運用支援、人事労務支援の実施。
- 人材不足に対しては、派遣社員などニーズに応じた人材のご案内。

03

外国人材への取り組み —外国人材活用の経緯



オートバックスグループでは、近い将来、少子化による若年労働者減少の問題に対して、いずれは外国人と一緒に就労する事が一般的になる事を想定して、技能実習制度より外国人労働者の受入れを開始しました。





1

技能実習生の受入れ開始

2006年7月、オートバックスグループの加盟法人の有志で技能実習の受入れに向けて、監理団体を設立。当時の制度では、『自動車整備』の職種は認められておらず、『金属塗装(板金塗装)』での実習を開始。1期生としてフィリピンより5名が来日。

苦勞した点



- 文化や習慣の違いに慣れていなかった。
- コミュニケーション面で苦勞。そのため、技術を伝える以前に特に日本語能力試験(JLPT)に準じた教育に力を入れた。
- 一部の店舗では、外国人のスタッフに自身の車に触れられる事を拒むお客様が居られ、理解に向けた取り組み。

良かった点



- 店舗スタッフに良い刺激となり、今まで以上に「相手を理解する」「相手に伝える」事に注力。
- その結果、実習生はもとより、スタッフ同士やお客様に対してのコミュニケーション能力が向上。

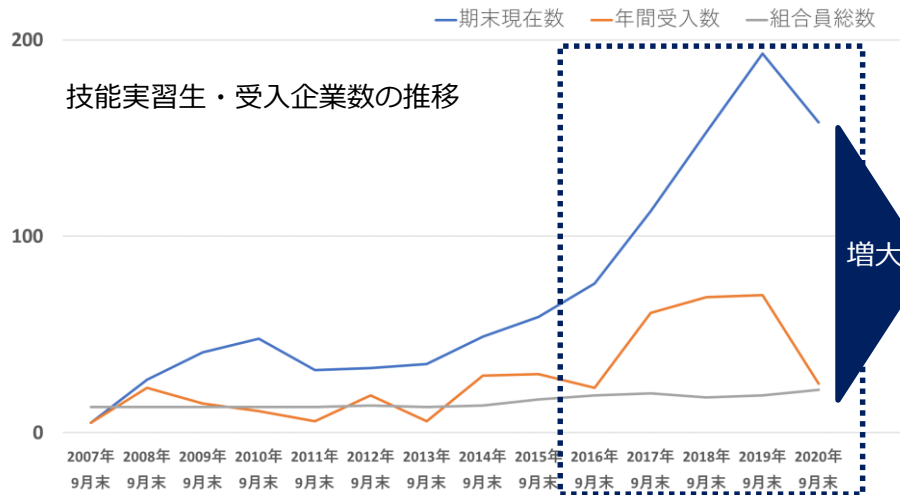
03

外国人材への取り組み —外国人材活用の経緯



2 技能実習 自動車整備の導入

2016年4月から、『自動車整備』が職種に追加となり、受入れ可能な店舗が拡大。



受入の状況

- 協同組合への加盟法人も増大。
- コロナによる入国制限前では、年間3回の選考会を開催し、1回あたり20~25名を受け入れるまでとなり、常に200人以上の技能実習生がオートバックス店舗で実習を受ける。
- 現在、フィリピンで出国待機中であるが、35期生までとなる。

母国へ帰国後の状況

- 技能実習期間を終えた実習生の中には、フィリピン国内で整備工場にメカニックとして従事する者、現地パートナー企業で勤務する者の他に、送り出し機関でオートバックス研修の講師をする者、一念発起して自ら自動車整備工場を立ち上げる者など、現地の自動車産業で活躍。

03

外国人材への取り組み —外国人材活用の経緯



3

特定技能の開始

2019年4月より新たな在留資格として、特定技能制度が開始されました。
チェングロウスでは登録支援機関として登録許可を受けました。



当社の取り組み

- 2019年9月、当グループ内の技能実習生が整備士資格3級を取得し、日本で初の自動車整備の特定技能1号となる。
- 技能実習修了後、本人の希望により5年間の特定技能に移行する人材が増加。
- 2022年2月末現在、当社では84名の特定技能外国人を支援。

03

外国人材への取り組み —新たな取り組み



チェングロウスでは、外国人材活用の新たな可能性を見出し、外国人材にとっても有意義な仕組みづくりを進め、整備業界や国際社会に貢献いたします。



3級整備士の輩出

特定技能の中から、整備士3級取得を目指すスキームを開始。定期的な研修に加え、当社が実施する短期講習へ参加させ、1期生の2名が見事合格。現在、夏の試験に向けて、2期生4名の研修を開始。



外国人の2級整備士・検査員の育成

提携先であるフィリピンにある大学の工学部の生徒を対象に、自動車先進国である日本で就労して、働きながら自動車整備士2級・検査員資格の取得を目指す。



フィリピン以外からの受入れ

今後は、ASEAN地域より人材を集め、当社のプログラムにより整備技術を伝え、国際貢献に寄与する。

04

未来に向けて

自動車整備事業全体の発展へ

日本は自動車先進国であり、外国人材にとっても、今後の自動車の高度化に向けて自身のスキルアップの面において、他国と比べ優位であると考えます。

今後の特定技能2号の業種拡大に向けて、雇用者と就労者のお互いが有益なものとなる制度を構築すると共に、オートバックスチェーンのみならず、自動車整備事業全体の発展に貢献できるものを構築していきたいと考えています。

